

## 会 議 録

会議名 (付属機関等名)	川西市総合計画審議会(第6回)		
事務局(担当課)	総合政策部行政経営室経営改革課		
開催日時	平成29年9月26日(火) 午後6時30分から午後8時30分		
開催場所	川西市役所4階 庁議室		
出席者	委員	(別紙委員名簿のとおり) ※藤末委員欠席	
	その他		
	事務局	作田行政経営室長、的場経営改革課課長、八尾主査 河合主査	
傍聴の可否	可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	(別紙会議次第のとおり)		
会議結果	(別紙審議経過のとおり)		

# 川西市総合計画審議会委員名簿

平成 29 年6月7日現在

(敬称略、50 音順)

	委員氏名	役職等	選出基準	備考
1	上畑 雄太郎	阪急バス株式会社自動車事業部業務課主任	市民団体等	
2	岡田 忠純	岡田不動産鑑定	市民団体等	
3	荻田 雅仁	川西市商工会副会長	市民団体等	
4	柏 直行	教育経験者(川西市郷土館館長)	市民団体等	
5	北 稔	川西市コミュニティ協議会連合会理事	市民団体等	
6	木原 恵美子	川西市消費者の会会長	市民団体等	
7	藏原 亜紀	NPO法人育ちあいサポートブーク代表理事	市民団体等	
8	兼定 政司	市民	公募	
9	土山 希美枝	龍谷大学政策学部教授	学識経験者	副会長として選出
10	中島 智彦	能勢電鉄株式会社総務部長	市民団体等	
11	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授	学識経験者	会長として選出
12	野田 大東	川西市防犯協会会長	市民団体等	
13	平山 圭	市民	公募	
14	藤末 洋	川西市医師会会長	市民団体等	
15	松尾 幸恵	川西市民生児童委員協議会連合会会長	市民団体等	
16	三井 ハルコ	NPO法人市民事務局かわにし理事長	市民団体等	
17	三善 知子	市民	公募	
18	山本 令子	川西市人権啓発サポーター会代表	市民団体等	

## 川西市総合計画審議会（第6回）会議次第

日時：平成29年9月26日（火）

午後6時30分～

場所：川西市役所4階 庁議室

### 1 開会

### 2 議事

- (1) 第5次川西市総合計画後期基本計画の策定
- (2) その他（次回の日程・内容確認など）

### 3 閉会

# 審 議 経 過

事務局	<p><b>1 開会</b></p> <p>お時間がまいりましたので、「第6回川西市総合計画審議会」を開会いたします。</p> <p>本日もご多忙にも関わらずお集まりいただき、まことにありがとうございます。本日も活発なご議論をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは新川会長、早速ではございますが議事の進行をよろしく願いいたします。</p>
会 長	<p><b>2 議事</b></p> <p><b>(1) 第5次川西市総合計画後期基本計画の策定</b></p> <p><b>●意見集についての審議</b></p> <p>それでは、ご出席予定の委員皆さんお揃いですので、早速進めたいと思います。</p> <p>事務局からご紹介がありましたように、前回ご議論いただき、その後各委員からも色々ご意見を頂戴しました、本審議会としての意見集の作成、それから答申の具体的な案について、ご審議いただきたいと思っております。意見集につきましても、お手元に予めお届けしたとおり、前回お示したものにさらに各委員のご意見、特に班ごとに分かれて議論を重ねていただいたところも主な意見として具体的に書くということ、またそれと合わせて本文の内容も再度精査して修正をいたしました。また、追加で新たにご意見いただいたものも一部反映しております。</p> <p>今日はまずはこの意見集について、各委員から追加するべきところ、或いは削除するところのご意見をいただければと思います。そしてこの意見集を付けて答申を行いますので、答申の表紙としてどういう書き方が良いか、これも答申案を事務局と相談の上作成しております。これについて、後半でご議論いただきたいと思っております。</p> <p>まずは、予めお届けしておりました意見集について、ご意見いただければと思います。色々な視点、施策分野がありますが、これを通じてご質問やご意見があれば、ご自由にどこからでもいただきたいと思っております。その後、分野を区切って確認をした後、意見集の取りまとめをしたいと思っております。</p>
委員	<p><b>◆ 施策46「革新し続ける行政経営をめざします」について</b></p> <p>答申案と意見集を何度も読ませていただきました。総合計画策定にあたり、市民の意見や提案をいかに反映させるかが、重要ではないかと思います。この意見集には、市民の提案や意見がたくさん反映されておりますが、それは委員が真剣に議論されたからだと思っております。</p>

12 ページの施策 46「革新し続ける行政経営をめざします」に「川西の魅力については、行政だけでなく市民一人ひとりが効果的に発信していくことが重要である」とありますが、私もこれに全く同感です。長く川西に住んでおりますが、本当に住みやすいまちだと思います。素晴らしい歴史と文化があり、また、緑と水に囲まれた美しい自然環境に恵まれ、それに犯罪も交通事故も災害も少なく、安全で安心して暮らせるまちだと思います。この素晴らしい川西の魅力を川西市内だけでなく市外にも、テレビや新聞等を通じて積極的に発信していくことが重要だと思います。そうすることにより、市外の方で川西で暮らしてみたいという方が増えれば、市が抱える懸案事項の少子高齢化や人口減少にも歯止めがかかるのではないかと思います。

会 長

ありがとうございました。貴重なご意見をいただきました。  
その他、いかがでしょうか。

- ◆ 施策 22「高齢者の生きがいがづくりや社会参加を促進します」
- 施策 25「地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します」
- 施策 42「性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できるようにします」
- 施策 44「市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します」
- 施策 45「参画と協働のまちづくりを推進します」について

委員

まず前回色々な意見を出して、それを短時間で膨らませてまとめてくださったことに感謝します。その上で、数か所だけ気になったところを申し上げたいと思います。

施策 22 は、私が申し上げたところではなかったと思いますが、シルバー人材センターと言うよりシニア世代との連携強化の話だったかと思います。

他にもあるかもしれませんが、私がどうしても気になったところだけ順番に。

施策 25 です。受援力の話をされたと思います。受援力は最近大事だと言われていて、助けてと言えることも一つの力という考え方があります。確かに自助努力も大事ですが、助けを求めていく力はこれから認識していくことが大事だと思います。それが施策 25 か 26 のどちらかに入っていたほうが良いと思いました。確か 25 でおっしゃっていたような気がします、また間違えていたら訂正ください。

施策 42 は、私も関わっている男女共同参画センターのことです。表現が大分変わりました。男女共同参画センターを積極的に活用するだけでなく、全庁的全市的に男女共同の啓発を推進するという話があったように思いますので、もう少し強く出しても良いと思いました。

施策 44 は、このままの文ではなかなか腑に落ちないです。自治会等の地縁型の組織とNPOやボランティアの志の縁である志縁型の組織との連携強化が課題にあがっていたと思います。ですから、そこを明確にしたほうが良いのではないかと思います。私が作った文はベストとは思いませんが、読み上げます。それから今ちょうど、参画と協働の推進会議の基本計画の見直しをしており、

そこでも地縁型と志縁型は出ていたと思います。「地縁型の自治会や志縁型のNPO・ボランティア等の自立的活動を促すとともに、地縁型と志縁型との連携をさらに図ることも重要で、そのことによってそれぞれの活動の負担軽減にもつなげていく」という感じのほうが、私はストンと落ちる感じがします。ネットワークもすごく大事ですが、ここの「団体間のネットワークの共有化を図る必要がある」は、何を目指していくのかがぼやけてしまうような気がしたので、こういう表現はどうかという提案です。

施策 45 は、まさに参画と協働のまちづくり推進会議でも色々と議論がなされていますが、ここの（主な意見の）「参画と協働への市民の理解と意識をさらに向上させる必要がある」というのは、上段に書かれていることの繰り返しになっています。私が気になっているのは、市民も市職員も参画と協働の意識が色々まだあるという気がするので、参画と協働への意識の共有が必要であるということです。参画と協働とは何かということ、すり合わせていくようなことをもっと重ねていくことが、実際の事例を生んでいくだろうと考えています。

会 長

ありがとうございました。

委員

施策 22 の中の「高齢者自らが積極的に社会貢献できるよう」というところに含まれているのかな、と思ったりもしました。あの時申し上げたのが、拠点としてシルバー人材センターの充実と強化もありますが、その前に高齢者の生きがいがづくりの側面と、地域の例えば子育て支援では高齢者の力に期待するところがあるので、そういう意味で高齢者の方々に力を発揮して欲しいということです。

会 長

ご趣旨は良く分かりました。  
その他いかがでしょうか。

#### ◆ 施策 8「総合的な交通環境の向上を図ります」について

委員

施策 8 はきれいにまとめていただいています。班ごとの議論の時にモビリティマネジメントの意味について浸透していないと述べました。計画にモビリティマネジメントがどういうものを分かりやすく記載することが大切だということと言いたかったわけで、モビリティマネジメントがどういうものか周知する必要はないのではないかと思います。この「周知」という言葉は、必要ないのではないかと思います。あと「周知や教育をさらに進めることにより」とありますが、小学校等でバスの乗り方を教えること等をメインでイメージされているので、「教育」という言葉がここと（主な意見）にも入っていると思います。モビリティマネジメントはそういう教育だけではなくて、ここにも書いてありますが、公共交通に対する市民の関心を高めたり、それによって公共交通の利用を促進すること全体が、モビリティマネジメントになります。教育もその中に含まれているので、「教育」という言葉もあまり必要ないのではないかと

	<p>と。モビリティマネジメントという概念そのものだけを書いて、「モビリティマネジメントをさらに進める必要がある」ということにしていただければと思います。</p> <p>あと同じようなことですが、公共交通に対する市民の関心を高めたり、公共交通機関の利用促進を行うこと全部含めてモビリティマネジメントですので、例えば「公共交通に対する市民の関心を高め、公共交通機関の利用促進活動等のモビリティマネジメントをさらに進める必要がある」というような文章構成にしていただければと思います。</p> <p>あと（主な意見）に「モビリティマネジメント教育に関連する施策評価指標の設定を検討する必要がある」とありますが、指標として出しづらいものがあると思います。取組み件数も大事ですが、その結果市民の意識がどう変わったか、例えば利用回数が前より増えたのか、のほうが重要です。そういうものを指標にしていただければと思います。</p> <p>会長</p> <p>ありがとうございました。 その他いかがでしょうか。</p>
	<p>◆ <b>施策 36 「誰もが等しく学べるよう支援します」</b> <b>施策 37 「児童・生徒の健康を守ります」</b>について</p> <p>前回と比較すると、こういう意見があったということが入っていると思います。私自身もコーディネートしながらまとめきれていない部分等の違和感があれば、委員の皆さまから積極的に補足いただきたいと思います。</p> <p>私が気付いた中では、施策 36 の（主な意見）の 2 つ目「長期欠席だけでは経済的な影響を測ることはできないため、内容の見直しが必要である」とありますが、「できないため」と「内容の見直しが必要である」の間に「近年の子どもの貧困の議論も踏まえつつ」と入れていただくと、グループで議論した時のニュアンスに少し近づくと思いました。</p> <p>また、施策 37 については、教職員の労働時間改善について記述を復活してくださったことは、良かったと思います。文末に可能であれば「教職員の労働時間の改善や健康への対策が必要であり、」として「市としての状況調査や対策が期待される」と入れていただくと、もう少しグループでの議論が反映されると思いました。</p>
	<p>◆ <b>施策 34 「児童・生徒の学力を向上させます」</b>について</p> <p>委員</p> <p>施策 34 です。「点数化される見える学力の向上」と合わせて「自ら課題を発見し、解決していく見えない学力」とありますが、課題を発見する力やそれを自ら解決していこうとする力は、あくまでも見えない学力の一部分です。学習習慣をつくる、学習意欲を高める等、他にも色々あると思います。「発見し、解決していく力等」と膨らませていただければ有難いと思います。</p>

会 長	<p>ありがとうございました。 その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>◆ <b>行政経営改革大綱について</b></p> <p>これは班で分かれて議論した外のところなので、全体的な状況を教えていただければと思います。「行政経営改革大綱」のところですか。資料を拝見していると、実績値の掲載や進めていくはずの行政改革や行政経営改革の方向性が、なかなか達成できない状況があったと思います。施策 47 にその問題意識が書かれていると思いますが、行政改革自体はこの後どういう方向性が検討されて、それが総合計画にどのように反映され得るのか、という全体状況を教えていただきたいのですが。</p>
会 長	<p>事務局から行革について、お話しいただけますか。</p>
事務局	<p>総合計画に「行政経営改革大綱」を載せております。ここの部分を受けて、さらに行財政改革の審議会を今年度実施しており、ここから答申を受けております。答申を受けている中で4つ大きな項目として、「職員人件費の適正化、業務の改善・効率化それによるコスト削減、組織力の向上を目指した組織の再編と人員の配置・職員数、職員の意識改革や政策形成能力の向上」というものをいただきました。我々としましては、これを受けて行財政改革の後期の実行計画に基づいて細かい内容の計画を策定し、実行していきたいと考えています。行財政改革の進行管理や前期の達成状況等も踏まえて後期に生かせるように、計画だけ立ててOKではなく、どれぐらいに実行していくのか策定していきたいと考えています。</p>
委員	<p>ありがとうございます。審議会がスタートしていてそこからの答申ということで、そのこと自体は的確に分析されたと思います。一方で、これまでできてきた部分もかなりあるかと思いますし、グループでの議論も職員数減はこれ以上大丈夫なのか、職員さん達は頑張っているという声もありました。また、いただいた資料の中ではアウトソーシング等もありましたが、印象としては相当進めてきているところなので、もう少しワークフローの見直しみたいなのところも入ってくると思いますが、これまでできてきたことをもう少し頑張ろうというところはなかなか大変だと思いながら伺っていたところでした。別の審議会から答申が出ていることに異を唱えるものではないのですが、これまでとは少し違う意味での行政の質の向上が図られるには、少し踊り場的なところにいるという問題意識があったので、その文脈での質問でした。</p> <p>13 ページの施策 49 は、私からの一委員としての意見を拾っていただいたと思います。公共施設の再配置について、市民との意見交換を早めに丁寧に進めることが必要だということは意見として申し上げ、ここに書いていただいたと思いますが、「合意形成を円滑に進めることが重要である」とあります。恐らく、</p>



<p>会 長</p>	<p>あまり円滑にならないこともあると思います。ただ、丁寧に進めることはとても必要なので、ここは「円滑に」というより「丁寧に」としていただければと思います。いずれにしても、施設の再配置については議論が多くあるところなので。また、「合意形成」を「政策形成」にしたほうが良いか迷いましたが、可能であれば再配置に関わる「意思形成」か「合意」にさせていただき、「円滑に」は「丁寧に」としていただければと思います。また、公共施設の再配置は計画があることなので、市民との意見交換も計画のタイムスケジュールの中に組み込んでいただくことが重要だという問題意識がありました。それは補足したいと思います。</p> <p>ありがとうございました。 他にいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>◆ 施策 11「商工業を振興します」について</p> <p>施策 11 です。ずっと気になっていました。要は、商工業の形態が変わってきている、特にインターネットを利用した e コマースについて前面に書かれています。そもそも例えば商工会では建設業、工業、商業、サービスと大きく 4 つに分かれて運営しています。とりわけどの業種が多様なものになっているかと言うと、サービス業です。ご存知のとおり、工業は大きな会社は残っていますが、なかなか増えない。建設業は変わらずで、一時の景気低迷から乗り越えられた業者は今もしっかりされています。商業も変わりないです。サービス業はすごく幅が広く、例えば私は専門資格者ですが、何々士という士業の方もおられますし、コミュニティビジネスの延長線上で活躍されている市民も多いです。例えば、簡単に言うと手作り雑貨を作られている方や、雑誌編集等、インターネットを活用されていることは、もうそんなに新しいことではないと思っています。どういう書きぶりなのかは分かりませんが、すごく商売が身近なものになっているということは、言えると思います。どなたでも流通にのるものを自らつくっていける時代になっているので、何かその書きぶりが欲しいと思います。何か手立てがないかと思っています。</p>
<p>会 長</p> <p>委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>◆ 施策 15「観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます」について</p> <p>施策 15 です。(主な意見)の「各担当部署が庁内における連携を強化し、施策を展開するべきである」は、何に対してでも言えると思いますが、主に PR 動画を発信されたり、きんたくんのイベントを PR しているのは魅力発信の課なので、その課がしていることも色々な部局と連携してもらえれば情報は広がるし、横から吸い上げたものをその課が発信するのだろうといつも見ていて思います。連携強化には情報共有しないといけないし、どうすれば連携できるのか庁内のシステムの見直しが必要な気がします。何か事務局として、もう少</p>

会 長	<p>し具体的なアイデアがないのかと思いました。</p> <p>事務局、何かありますか。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり、色々な部署が関連する施策を進めることは、後期の総合計画と行財政の計画を策定する中で、施策を展開する上でどういう組織が良いのか、今後検討が必要だと思っています。現段階で具体的にここに書けるものはないのですが、そこは課題だと認識しておりますので、今後5年間の施策を実行できるような体制は取りたいと考えています。</p>
会 長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>その他いかがでしょうか。どの項目でも結構です。</p>
委員	<p><b>◆ 施策 43「市民の声を聴き、情報の共有化に努めます」について</b></p> <p>施策 43 の主な意見の2つ目です。「イベントを周知する電子掲示板を駅などに設置すべきである」は、確か電子掲示板だけじゃなく、スマートフォンやタブレット等の端末でも見られるような発信をしていけばということだったと思います。</p>
委員	<p>この電子掲示板というのは入りで、内容まで細かく出すとすごく大きいものになります。本日何がありますというレベルと、あとはその右下にでもQRコードのようなものが付いていて、それをスマホで読み取れば川西市の全てが知れるポータルサイトのようなものがあれば。自分の見識が低いかもかもしれませんが、川西のことを知ろうと思うと、全国にある地元密着の掲示板ぐらいしかないです。情報を一つにまとめてスマートニュースのような形式で発信していくのが、受け取る側もそんなに抵抗なく受け取れると思います。自分が今まで住んでいたまちの中で、川西市はすごく情報が多いと思います。その取捨選択がなかなか大変なので、自分の興味のあるものを中心に、そこを突破口に広げていくような形で、スマホのアプリを川西独自で発信してはどうかと提案したように思います。</p>
委員	<p>専門的なところはよく分かりませんが、そういうシステムができれば、先ほどおっしゃっていたような横断的な動きが見えてくるのではないかと思います。今はどうしても縦の動きになりがちなところを、何とか横串がささるようなシステム構築、それが全体的な組織編成にも関わってきて、職員配置にも繋がっていくと思い、このところは意外と大事だと思いました。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>

委員	<p>◆ <b>施策 25「地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します」</b>について</p> <p>施策 25 です。皆さんもご存知のように、阪神淡路大震災から 25 年が経ちました。今度は、南海トラフ地震が 30 年以内に 70%の確立で発生するのではないかと、その時の死者が 12,000 人以上ではないかと言われていています。ここに「防災訓練による啓発」とあります。これは大規模地震ではなく、台風等の災害訓練が多いと思います。これも重要な訓練ではありますが、2 年に 1 回や 3 年に 1 回でも結構ですので、総合的な防災訓練を検討されたほうが良いと思います。大地震が発生すれば、受援体制や被害者調査、自衛隊の受け入れ、他府県からのボランティアの受け入れは大変です。総合的に防災訓練をしておかなければ、阪神淡路大震災の二の舞になるのではないかと思います。恐らく今回南海トラフ地震がくると、想定外のことというのは通用しません。それだけに万全の体制と訓練を視野に入れておかないといけないと思います。それも考えておられるかもしれませんが、一度検討されてはどうかと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。これも重要なお提案をいただきました。 その他お気づきの点はございませんか。</p>
委員	<p>◆ <b>施策 15「観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます」</b>について</p> <p>皆さんのご意見を聞いていて思ったのが、施策 15 です。確かに川西市は色々な文化・歴史があります。自分の主観ですが、外の人が集まって来るのは、猪名川の花火大会だと思います。あのようなイベントがあって人が集まって賑わうのですが、一過性のものなので経済的には難しいと思います。花火大会は川西市だけがやっているわけではないと思いますので、他の自治体と連携して誘致するような感じのイベントはどうかと思っています。場所として考えられるのは、キセラも広域なスペースがあるので良いとは思いますが、川西に南北に縦断している猪名川の活用を考えるべき時だと考えています。最近ニュースで観た話ですが、例えば大阪では川の活用について審議会も立ち上げられて、色々積極的にされています。道頓堀の活用方法で、飲食系の経済関係の団体が協力して官民一体で盛り上げるというのがあります。川西は猪名川があるのに、あまり市民に密着した感じではあまり聞かないので、川の活用法を中心に外から人を受け入れるイベントができればと思いました。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>今の平山委員のご意見は、私も非常に良いと思います。池田市では猪名川の河川敷で夏にジャズ大会や野球がものすごく活発です。川西は、場所的に野球等ではできません。だからそれをもっと開発して、野球や音楽のイベントができれば良いと思います。私も前からそれが気になっていました。一度検討すべきだと思います。</p>

会 長	ありがとうございました。
委員	<p>私も施策 15 のところで、川西も確かに歴史も観光もあり、人を呼べるポテンシャルは持っていると思いますが、前から言っているように、それでも周辺地域と比べると集客という部分では今一つ劣っていると思います。その中で川西の売りは何かということで、「人」なんだということを言い続けています。結局、人の意識が変わることでベースが上がってくるような考え方です。そこで今おっしゃっておられるのが、イベントを利用して人との関わりをしていくことも、集客プラス必要なことだと思います。申し上げたいのは、例えば猪名川をキーワードとしておっしゃられたのは、色々な自治体を繋げていくには良いツールです。もう一つ能勢電というすごく良いハードもあります。能勢電を利用した周辺地域を繋いでいく工夫があっても良いと思っています。それをどう具体的に書くかということになると思いますが、「周辺地域との連携」みたいなことが、あったほうが良いように私も思います。</p>
会 長	ありがとうございました。
委員	<p>◆ 施策 20 「地域福祉活動の支援と促進を図ります」について</p> <p>施策 20 です。2 行目に「関係機関や民生委員・児童委員等との連携を強化し、」とありますが、是非入れて欲しいのは福祉委員です。民生委員は 250 人ですが、福祉委員は 1,500 人くらいいます。</p>
会 長	ありがとうございました。
委員	<p>◆ 施策 14 「就労支援の充実と勤労者福祉の向上を図ります」について</p> <p>施策 14 の（主な意見）の 2 つ目です。「起業を支える施策を検討するべきである。」は、内容としては施策 11 なのか、或いは「起業」ではなく「企業」であればここだと思うのですが。話の内容は忘れましたが、唐突感があるように思いました。</p>
委員	<p>少し補足します。私も色々思い出しながらですが、確かここでの議論は、女性・高齢者・障がいのある方が働ける職場を増加させる支援に努めるべきであるという話をしていました。どうすれば効果があるか、小規模な事業所が多様に増えてくると良い、そういうことに対する支援そのものはないよね、という話が出てきました。女性・高齢者・障がいのある方を雇って欲しいという PR はしていますが、その方達自身が業を起こす支援はどうか、という話をしていたように思います。同じグループの皆さん、思い出して意見をいただければ有難いのですが。あと、障がいの方は法定雇用率がありますので、そういうことをもっと可視化して、呼びかけるだけではないところが必要だという話が出ていたと思います。ミッション性のある企業を支えることが必要ではないか、と</p>

会 長	<p>いうことでした。</p> <p>別の論点でももちろん結構です。</p>
委員	<p><b>◆ 施策7「キセラ川西のまちづくりを進めます」について</b></p> <p>施策7です。先ほどの観光資源の話をしていた時の「人」とあるという話に戻っていきますが、キセラ川西の22ヘクタールのまちづくりは普通に進んでいくと思います。この書きぶりはそうなのですが、キセラの公園やせせらぎの遊歩道については、数年にわたり市民と行政がワークショップをして作り上げてきた経過があります。その中で大きなところのデザインや将来的な利用方法等を考えてきました。市民が主導的に使っていき、あわよくば自分達で公園運営や管理ができれば良いという話も出ながら進めています。そういうワークショップをすることで、お互いを知る機会に繋がり、イベントの裏には何か隠されたものがあるからそういうものをお互いに知り合うことで、自分にも何かできるという相乗効果が起こっています。公園というのは、第3の場所です。皆さんご自宅のリビングや庭はきれいにされるとと思います。そこも大事だけど、リビングを飛び出してこういうパブリックな空間で色々な人に出会い、新しい価値観を川西市民皆で深めていこうというのが、パブリックライフです。そういうことを相乗効果で起こしていくことで、自分のまちに愛着を持ち始める、川西が好きではなくて川西に住んでいる人が好きということであって、そういうシビックプライドを醸成していきたいということです。フリーマーケットやコンサートをして楽しい魅力のあるまちにしましょう、という書きぶりから始まるのではなく、そもそもそんなことに挑戦できる新しいまちができるということから始まっていますので、これはひっくり返して欲しいと思っています。とりあえずフリーマーケットやコンサートをするということではなく、皆さんの意識を高めるきっかけになる新しいまちができていて、とりわけ公園や遊歩道はそういうことに利用できる、という書きぶりにして欲しいです。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>今のキセラ川西のお話を聞かせていただき、実はこれは市民もものすごく期待されています。高齢者が憩える場にしてはどうか等、いまだにそういうことをおっしゃっている方がおられます。私もせせらぎ公園のオープンの時に行きました。ただ、私はこのせせらぎ公園は、色々な意味で利用する価値があると思います。大きな貯水槽がありますが、防災マップには書かれていません。もし地震が起きた時に一番困るのは、パイプラインです。あそこに貯水槽があれば、市民はものすごく助かります。あそこに行かれていない方は、ほとんどが貯水槽があることをご存じないと思います。そういうPRもして、キセラ川西は川西が将来に向かっていくためのステップになるということ、色々していく必要があると思います。計画も遅れているし、宙ぶらりんになっていま</p>

	<p>す。例えばヤクルトの古田さんは、川西出身の有名人でものすごく協力的なので、広報大使にしてキセラ川西のイベント等に来ていただければ、全国が注目すると思います。そういうことも今後考えていく必要があると思います。皆で盛り上げていかないといけない。それとマンションが建っていますが、入居者が少ないです。キセラ川西は、行けば良いところです。市民プールも総合体育館もあります。文化会館ができればもっと便利になりますし、市民病院が移転すれば本当に総合的な市の施設になると私は思っています。だからそれを皆で盛り上げていく必要があると思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>キセラに関しては、うちのNPO法人で 10 何年前から市と一緒にまちづくり講座を開催したり、一市民としてワークショップにも参加したりしてきたので、思い入れがあります。ここは今までと違い新たな可能性を秘めている場として、「色々なことが新たに始まっていく場」という記載があれば良いと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p><b>◆ 施策 47「持続可能な財政基盤を確立します」について</b></p> <p>それとは別に気が付いたのですが、施策 47 です。ここの（主な意見）の 2 つ目「企業誘致を行う必要がある」は、こう書いてしまうと製造業的なものを誘致するというニュアンスで終わってしまいそうな気がしました。そうではなくて、今のキセラと同様に新しいナレッジタウンやインテリジェントタウンのようなニュアンスがあったと思います。今までの企業ではなく、川西ならではのナレッジタウンと言うか市的な何かを醸し出していくような企業誘致を考えてたのではないかと思います。何か言葉を添えておいたほうが良くないでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>施策 47 で私が言ったのは、まずは税収を確保するために企業を誘致していく必要があるということですが、どこに誘致するか例の一つとして挙げたのがアステです。アステの一部をレンタルオフィスのような形で貸し出すことにより、ベンチャー企業が入りやすくなるのではないかと。もちろん、それに対する支援等は必要だと思います。何故アステを例に挙げたかと言うと、だいたい半径 1km 圏内に JR と阪急があることと、もう少し足を伸ばせば川西市役所にも近い。小さい円の中に 3 つあることは、なかなか他市にはない強みだと思います。入りやすい、起業しやすい土壌を育てることが重要だと思います。有効活用かつ税収、また、そこに暮らしてもらえれば人口減少にも歯止めがかかるようなイメージもあると思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>どうもありがとうございました。</p>

委員	<p>◆ 情報発信について</p> <p>今までの課題を見た上で大それたことですが、経済、教育、全てにおいて、今は情報が通信になっていると思います。ネットと言えば、比較的イメージしやすいと思いますが。各々通信端末を持っていると思いますが、そういうところから改善していけば裾野として広がりやすいと思います。具体的には、難しいと思いますが各自治体に通信インフラを格安で提供できるようなサービスを始めればそこから入りやすいですし、まずは何をすることも情報だと思えますので。その辺りの足がかりとして関西初で売り出せれば、かなり売りになると思えます。商売をするにしても、情報を発信する、学習するということでも一番根っこかと思いました。</p>
会 長	<p>それでは、皆さまの意見をまとめます。</p> <p>意見集の最初の視点「暮らし」の中では、2 ページの施策 7 のキセラ川西について、いただきました。特に本文の書き方として、キセラ川西が本市のこれからのまちづくりの大変重要な位置付け、将来に向けての発展の大きな起爆剤になっていくというイメージで提案ができないだろうか。それをやっていく上で、フリーマーケット等が色々あっても良いというお話がありました。ただ単に賑わいや集客ということだけでなく、潤いや安心安全、防災の話もありましたが、そういうものも含めてキセラを盛り立てていくことが必要ではないか、という話もいただきました。その背景には、キセラが市民参加のもとでここまで開発が進められ、市民の手で今後さらに大きく伸ばしていかれようとしている、そういう可能性も踏まえてキセラ川西のまちづくり、そしてそれが川西市全体の大きな誇りになっていくような位置付けをして欲しい、というお話をいただいたと思います。</p> <p>施策 8 では交通環境の向上というところで、特にモビリティマネジメントについて、当然のことながらこれから高齢社会を迎えて、ますます必要性が高くなってきているということで、推進は当然であるというご意見をいただきました。書きぶりとして、モビリティマネジメントそのものを知っていただくと言うよりは、むしろこれをきちんと説明をして進めていくことを強調して欲しい、というご意見をいただいたと思います。同時に、このモビリティマネジメント施策の成果指標としては、公共交通機関の利用を指標にすべきではないか、というお話をいただいたと思います。</p> <p>3 ページの「にぎわう」については、全般的にもっと盛り上げましょうというお話を、皆さんからいただいたと思います。施策 11 で言えば、インターネットeコマース云々と言うよりは、むしろ、様々な新しいサービス業が起こりつつあり、そういうところに今後大きな可能性がある。そこをきちんと書き込んでどうか、というご意見をいただきました。その中で生活、或いは一人ひとりの生き方に密着した新しい仕事のあり方、コミュニティビジネス的なもの、ソーシャルビジネス的なもの、或いは手仕事のようなもの、そういうところにも目を向けてはどうか、というお話をいただきました。もちろん、既存の商</p>

工業への配慮も当然していただければ、というご意見だったと思います。

4 ページの施策 14 でもご意見をいただきました。主な意見の 2 つ目の「起業」は、一般的な商工業振興、或いはベンチャービジネスと言うよりは、むしろ、女性や障がい者、若者、高齢者等の就労に一定の制約のある人達、意欲があってもなかなかチャンスに恵まれない人達について、その機会を増やす方法はないか、そのための起業を考えられないか、そうした場、或いは環境づくりができないか、というご意見をいただいたと思います。また、障がい者雇用については法定雇用率がありますので、その辺りを成果指標としつつ、市をあげて推進していくことを考えてはどうか、というご意見をいただきました。

施策 15 については、観光を中心にしてご意見をいただきました。特に、本市の様々な魅力をこれからどう発信していくのかということ、ご意見をいただいたと思います。猪名川河川敷をもっと利用してはどうか、或いは、能勢電という素晴らしいインフラがありながら上手く使えていないのではないかと、単にイベントで集客するだけでなく、それをさらにレベルアップしていく方策を考えられないか、というご意見をいただきました。その時に、少し広域的な連携や外からの様々な知恵やイベントの支援もいただきながら、そうしたものの誘致も含めて考えてみてはどうか、というご意見もいただきました。この辺りは、主な意見で少し書き加えていただいても充実するのではないかと、思いながら聞いていました。

「安全安心」では、6 ページの施策 20 に民生児童委員に加えて福祉委員のご協力をしっかり謳って欲しいというご意見をいただきました。

施策 22 については、もちろんシルバー人材センターの役割も重要ですが、高齢者の生きがいづくりや高齢者の力をもっと社会の様々な分野での活動に活かしていけるような、高齢者と子ども達との交流や特に小さい子どもを持つ家族・家庭への支援等、色々な形のものが考えられると思いますが、高齢者の力にもっと期待を集めても良いのではないかと、というご意見をいただいたと思います。

7 ページの「備える」では、地域の防災力を高めるという観点からいくつか重要なご意見をいただいたと思います。一つは、受援力ということ。助けを受ける、或いは、助けを求める声が出せる力をしっかり育ていきたい、それは地域でも個人でも同じだということで、ご意見をいただいたと思います。またそれは、行政や企業も同じかもしれませんし、そうしたところをご意見としていただいたかと思います。合わせて防災については、防災訓練が一応書かれてはいますが、総合的な実際に使える防災訓練が必要だというご意見をいただいたと思います。

9 ページ「学ぶ」では、特に児童・生徒の学力について、見える学力と見えない学力の両方が必要だということ、特に見えない学力については施策 34 にあるように課題発見、解決だけではなく、もっと様々なものがあるので、それに配慮した書き方というご意見をいただきました。これは、すぐに反映していただけるのではないかと考えております。



10 ページ施策 36 の（主な意見）の最後で、特に指標の問題にも関連して、近年の子どもの貧困問題も踏まえて内容の見直しをして欲しいというご意見をいただきました。

施策 37 は児童・生徒の健康の問題ですが、ここでも教職員の対策が必要というご意見を踏まえて、書き込んでいただきました。基本は教職員人事については県教委の仕事ではありますが、市として何も手を打たないのではなく、対策が大切であることも記載していただきたいとのご意見をいただきました。

11 ページ「つながり」の施策 42 では、特に男女共同参画についてご意見をいただきました。男女共同参画センターの積極的活用も当然必要だが、やはり全市的に男女共同参画について啓発をし、実際の日々の暮らしの中で実現していく体制が必要であるというご指摘をいただいています。書きぶりの順番や重点の置き方についてのご意見をいただいたと思います。

「関わる」では、特に施策 44 の市民公益活動の発展に関連してご意見をいただきました。自治会や町内会のような組織とNPO型の組織、それぞれに活動を活発にしていきたいということと、合わせてこれまでやや協力・連携の関係が少なかったこれらの組織が、さらに協力・連携を深めて欲しい、そうすることで市民活動が活発になり、各組織の制約や問題の解決にも繋がるのではないかと、というご意見をいただきました。なお、団体間のネットワークの共有化については、もう少し整備をして強化していく、或いは、団体間の連携や情報交換を活発にしていくというところに焦点をあてても良いのではないかと、少し分かりにくいということだろうと思います。

12 ページは「行政経営改革大綱」に関連してです。施策 45 の参画と協働について、理解・意識の向上と言うよりは、むしろ、市民と職員の双方が共有できる状態を是非つくって欲しいというご意見をいただいたと思います。

施策 46 は、川西がどんなに素晴らしいところであるかについて、市民一人ひとりが効果的に発信していくこともありますが、合わせてそれを内にも外にも向けてしっかり発信していくことが重要で、そのことが川西の行政経営の革新をさらに進めることに繋がるのではないかと、というご意見をいただいたと思います。ここは、本文に入れるか（主な意見）に入れるか、事務局で検討いただければと思います。

施策 47 については、特に企業誘致についていくつか重要な追加のご意見をいただきました。ICTや情報関係の企業を積極的に位置付け、考えてはどうか。もちろん、なかなかシリコンバレーのようなことにはなりません、少なくともスマートタウンやナレッジタウンのような可能性は考えても良いのではないかと、そうした企業活動のためのインフラを用意していくことも重要ではないかと、というご意見をいただきました。なお、通信インフラについては、今後川西市としてどういう形で考えていくのか、民間事業者が相当入って進んでいますので、どこでどういうふうにしていくのか。例えば、学校インターネット等を今後どうしていくのか、色々議論はあろうかと思いますが、既に学校によっては全ての生徒にノートパソコンを持たせているところもあります。そ

ういうのも見ていただきながら、今後のインターネット基盤を考えてもらえれば、というご意見をいただいたと思います。

施策 49 では公共施設の総合管理について、特に地域の皆さんにとっての大切な施設なので、地域での議論を踏まえた上で丁寧に今後のあり方を考えて欲しい、というご意見をいただきました。(主な意見)を、そうした視点で修正していただければと思います。なお、行革全般については、これまでの進捗が若干停滞しているのではないかというご意見もあり、これを乗り越える視点で、具体的には行革大綱やその実施計画で反映されることになるとは思います。その下支えをする、或いは、さらに大きく引っ張っていくような観点で書き込んでもらえれば有難い、というご要望をいただいたと思います。

だいたい皆さま方からいただいたご意見のおさらいをしましたが、もし何かあればいただきたいと思います。

皆さま方ほぼ異論がなさそうですので、事務局はだいたいこういう線に沿って追加、修正をお願いしたいと思います。

意見集について、その他ご意見ございますか。

(意見なし)

会 長

それでは、最終の意見集を事務局でまとめ直していただき、私のほうで確認の上、答申と合わせて出したいと思います。同時に委員の皆さまのお手元にはできるだけ早い段階でお届けし、ご確認いただきたいと思います。

#### ●答申案についての審議

会 長

意見集はこれくらいにさせていただき、答申案についてご審議いただきたいと思います。予め答申案もお手元に配布しております。私どもが諮問を受け、これからどんな方向で後期基本計画を策定してもらえば良いか、事務局でこれまでのご意見を踏まえてまとめていただいたものです。特に事務局から説明はありますか。よろしいですか。

それでは、お手元の答申案をご覧くださいと思います。この答申案の第一段落は、今大変本市が厳しい状況におかれているという、総合計画基本計画らしからぬ入口から入っています。これは、先ほどの行革のお話しと繋がる所です。そういう厳しい状況ですので、これまで以上に効果的に施策展開を進めていかなければならないということが書かれています。加えてこれからは、市民の皆さま方そして地域のニーズが、様々な価値や環境の変化に対応していかなければならず、もはや行政だけではできないということを、はっきり言っています。そして、市民一人ひとり、またコミュニティ、市民団体の皆さん方、事業者の方々、色々な人達との連携を図っていくことで、市民の必要性を何とか充足していこうという趣旨です。こういう観点から後期の基本計画について、お手元の答申案の下の3つのポイントに特に今後留意して進めていただきたいと書かれています。答申案の前段では、行財政が非常に厳しいの

で効果的に進める必要があるということ、もう一つ重要なのは、今後は行政だけでなく色々な人達の力を持ち寄って進めていく参画と協働の視点、それに基づいてこれからの後期計画を下の3つの観点に力を入れて進めていただきたいということです。3つの観点の1つ目は、人口減少、少子高齢化に対応するため、川西市の住宅都市としての住み良さ、安心して暮らせるまちをつかっていく、持続可能なまちづくりについて言っています。それから大きな2つ目としては、やはり少子高齢化ですので、子ども達を安心して産み育てることができる環境の充実を図りたいということです。それから3つ目は、健康なまちづくりという目標を掲げています。市民の健やかな暮らしの実現等のため、市民自身も事業者等も協力して健康を意識したまちづくりを推進していただきたい、という趣旨のことが書いてあります。

答申案の柱立ては以上のような内容になっていますが、表現等は色々ご意見があると思います。この答申案についてご意見をいただきたいと思います。また、分かりにくい点等のご質問をいただければと思います。

#### ◆ 2番の「生きる力」の捉え方について

表現になりますが、記の2番目「子どもが「豊かな心」と「生きる力」を育むための教育環境」とあります。「生きる力」の捉え方だと思いますが、生きる力として言われているのは、学力の向上、豊かな心づくり、健やかな身体という3点だと思います。ですからこの中で「豊かな心」と「生きる力」が並列に書かれていることに、違和感があります。「生きる力」の中に「豊かな心」は当然含まれているものだと思いますので、「生きる力」だけで良いと思います。

#### ◆ 2番に子どもの貧困問題に関する表記を追加することについて 前段の文章について

2点あります。1つ目は2番の「切れ目のない支援」というワードが今の動向に合っているので、入れられていることはすごく良いと思っています。その中で先ほどがおっしゃっていた言葉を借りれば、今後5年で絶対にクローズアップされてくる「近年における子どもの貧困の問題を踏まえつつ」ということを、「生きる力」の前辺りに入れていただいたほうが、これからの計画としては良いと感じました。

それからもう1点は私の主観かもしれませんが、上の文章の2段落目「行政だけでは十分に対応できないことから」という文言があえて入っていると思いますが、参画と協働のまちづくりに参加していこうと思う立場から言うと、仕方がないからというマイナス的な感じがします。今後は参画と協働が前向きな新しい形として積極的に進められても良いことではないかと思うので、例えば「地域のニーズに対して行政は積極的に連携を図り」みたいな、前向きな言葉にしてはどうか。主観的かもしれませんが、そう感じました。

下の2番目の子ども達の育みについて、特に貧困ということを謳ったほうが、

委員

委員

会長

	<p>これからの計画としてはより説得力も決意も実行力も出てくるのではないか、というご意見だったと思います。</p> <p>それから、上段の状況をどう踏まえるかについては、行政だけでは対応できないというよりは、むしろ、市民やコミュニティとの連携を図りさらに進めていくことが、市民の幸せに繋がっていくという視点が大事ではないか、というご意見でした。</p>
委員	<p><b>◆ 前段の文章の「責任」という文言について</b></p> <p>「市民、コミュニティ、事業者等との連携を図り、それぞれが担う役割」までは良いが「責任」とあります。我々は既に、27年から29年までの地域分権の3年計画を続けています。もう市から出てきているのは、30年度から33年度までの各コミュニティの事業計画を、来年5月の総会で可決して出して欲しいということですが、ここに「責任」とあると、我々としてはコミュニティが責任を持ってこれをやっていかないといけないのか、となります。私も今コミュニティの会長をしていますが、責任というものが出ると、まず会長のやり手がないです。10月に理事会の連合会がありますので、一度相談してみたいと思っています。責任という文言が出ると、コミュニティが責任を持たないといけないのかという問題が出ます。これは考えてもらえないか。この文章を出すと、うちのコミュニティの会長は全員拒否してしまうと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。もちろん、コミュニティ或いは市民に何もかも責任を負わせようという趣旨ではなくて、何をどこまでやっていただくのかを明確にするという趣旨です。これまでは、行政が何もかもというところもあったかもしれませんが、これから参画と協働を進める以上は、それぞれが何をどこまでやるのかお互いにその範囲を明確にして進める必要があるという趣旨であると思います。従来通りの考え方からすると、北委員からあったような危惧も当然考えられますので、ここは文言としては改めて考える必要があると思います。</p>
委員	<p>3年前の地域分権以降、各部署から全部コミュニティにきます。もう大変です。その代わり、ある程度の費用はもらっていますが。</p>
会 長	<p>とても見合った話ではないですよ。</p>
委員	<p>そうです。私も高齢ですが、次の会長のやり手がないです。だから、そういう点を考えていただきたいと思います。</p>
委員	<p><b>◆ 文言追加についての提案</b></p> <p>2点付け加えるとより良くなると思います、提案させていただきます。1点目は、「今後の人口減少や少子・高齢化に的確に対応するため、都市と自然や川が寄</p>

	<p>り添う川西市の住み良さを生かし」と足すことで、「自然」だけだとぼやけた感じなので、イメージしづらいと思いました。川によって広域経済的な協力が可能になるということも含めたいという意味で、そこが1点です。</p> <p>もう1点は3番です。「市民の健やかな暮らしの実現を目指して、健康や各負担の軽減を意識したまちづくり」という感じで、健康は大事ですが頑張っている方は既にいっぱいだと思うので、負担の軽減から健やかに暮らせるまちななれば良いと思い、提案させていただきました。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございました。</p>
	<p><b>◆ 文章にNPOが入っていないことについて</b>  <b>コミュニティの負担に対する書きぶりについて</b></p> <p>私はシンプルに、上の文章の2段落目「市民、コミュニティ、事業者等との連携を図り」に、まだまだNPOは弱小だからここには入れてもらえないのかなど。でも参画と協働のまちづくりと言うと、やたらNPOは出てきます。担い手として、例えば色々な事業のアウトソーシングができる主体としても、一応期待はされているのではないかと思います。</p> <p>それと、これは情報の提供です。私は委員ではありませんが、参画と協働のまちづくり推進で、今のコミュニティが抱えている負担が多いということはたくさん出てきますが、負担の軽減という言葉を書いたらそれだけで負担が多いのかと却って思ってしまうので、そういう書きぶりじゃないほうが良いのではないかという意見がありました。</p>
<p>会 長</p>	<p>NPOは入っていても良いですね。</p>
<p>委員</p>	<p><b>◆ 市民や事業者の役割について</b></p> <p>先ほどのご発言と関連して、「それぞれが担う役割と責任を明確にし」というところで、今回意見書では出てきていませんが、本体の資料では期待される役割が書いてありました。これには随分違和感があって、例えば市民の関わり方も色々あるかと思いますが、市民はいるだけでそもそも市民なので、どういう市民を想定しておられるのか。例えば、NPOや連携するパートナーとしての特定の団体としての市民を念頭に置いておられるのか、一般的な日々暮らししておられる市民を念頭に置いておられるのか、施策のユーザーとしての市民を念頭に置いておられるのか、少しバラバラな印象がありました。それを整えると言うよりは、むしろ、色々な記述の中で市民に対する期待が高まっているところがあると思いますが、全部の項目にこういうふうに無理に書いていく必要はないのではないかと思います。それは事業者についてもそうですが、役割分担のところはもとより強制のできないところで、役割を明確にするということは明確にしたから任せたということにはならないと思います。「役割を明確にし」というのは、誰から見た時のどういう役割なのかということを考えていた</p>

委員	<p>いただいたほうが。正直、一つ一つおかしい点を挙げると時間が足りないので、全部総括的に見ていたのですが。あそこに書かれている市民や事業者の役割については、しっかり内容を見ていけば随分異論があると感じています。</p> <p><b>◆ 2番の表現について</b></p> <p>先ほどから2番について何点か意見が出ていますが、「豊かな心」と「生きる力」を育むための教育環境の充実を図ること」とあります。教育環境と言うと、私を感じるには学校や保育所、幼稚園、こども園等を想像します。そういうところだけじゃなく、子どもが健やかに育つために教育環境ももちろん大事ですが、元々子どもには教えられるだけでなく自分で獲得していく力もあるので、言葉のニュアンスが引っかけられます。もちろん学校のことで整って欲しいこともたくさんありますが、教育環境だけが大事なのではなくて、子どもが育つ環境がもっと広く良くなっていくような、という感じの表現が良いのではないかと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。教育環境と言うとどうしても学校施設等に目がいきやすいこともありますので、そこは検討の余地があるかと思います。子ども達を育むという時に、学校の役割は大きいですが全てではなくて、家庭や地域や社会全体が関わっていくところもたくさんあります。そうした要素も含めて、どんな環境を子ども達の学びと育ちのために提供することができるか、ということが問われていると思います。ここはそうした趣旨で修正ができればと思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(意見なし)</p>
会 長	<p>それでは、答申案についても色々ご意見をいただきました。特に本文の2段落目のところ、行政が十分に対応できないということではなく、行政もしっかりやる、しかしそれだけではできないので、様々な担い手と連携・協力して、参画と協働のもとでまちづくりを進めていくということ。それから、市民、コミュニティ、事業者、NPO等の役割と責任については、色々と問題点をご指摘いただいております。ここについては、もう一度考え直して整理したいと思います。その際に、今後後期基本計画の策定にあたり留意していただきたい3点をあげていますが、この3点について新たに何か付け加えるということはありませんでしたので、まずはこの3点を基本に考えていますが、1つは1番目について、河川や里山等何か具体的にイメージしてはどうかというご意見をいただきました。それから2番目については、今後子どもの貧困問題がクローズアップされますのでそのことについて、それから生きる力を育む環境をつくっていくということにもっと力を入れて書いてはどうか、というご意見をいただきました。3番目については、市民の健康をしっかりと考えていく、また、市</p>

民一人ひとりが健康の問題を我が事として、気軽に負担なくそれを実現できるような環境をつくっていく、こういうところもご意見をいただきました。

なお、この答申全体にわたって本文の最後のところに、審議会で出た意見を聞いていただくように要望をしております。後期基本計画の策定にあたり、この審議会の意見を反映させていただきたいですし、今後予定しておりますパブリックコメントと市民からのご意見等を十分に汲み取っていただきたい。こういう趣旨で考えているということで、この答申をまとめたいと思いますが、よろしいでしょうか。細かい修正点まで今日は文章にしきれないところがありますので、また後日改めてご確認いただきたいと思います。

(一同、異議なし)

ありがとうございました。

それでは、本日予定しておりました議事は何とか2時間程度で収めることができそうです。色々と貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。皆さんのご意見を踏まえ、まずはこの答申の内容と意見集を市長にお届けし、修正点が後ほど出てくれば修正したものを改めて改訂版としてお届けすることはあるかと思いますが、まずは今日ご了承いただいた意見集と答申案をもって市長に答申したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同、異議なし)

## (2) その他

### ●今後の進め方・内容確認など

ありがとうございました。

なお、この審議会として直接お顔を合わせるのは、今日が最後になります。答申と意見集について、暫定的な形ですがご了承いただきました。ご確認いただいた後、最終版は事務局と私のほうで確定させていただきたいと思います。今後の進め方については、後期基本計画についての私どもの意見は出ましたので、これをもとに今後パブリックコメント、或いは議会への説明案を事務局で作成するという手順になります。恐らく、年内にそうした手順が進むのではないかと思います。その策定の結果については年明けと聞いておりますが、1月か2月には事務局からその成果の報告がされるのではないかと思います。

なお、事務局にではなく庁内の各課がどう考えているのかというご質問、また、この意見集で様々なご意見をいただいております。そうしたご意見について、実際にどのように応えていただいたのか、当審議会の委員としては一番気にかかるところだと思っております。審議会としては意見をまとめましたが、これについてどう市役所として対応していただいたのかについてのご報告は、後期基本計画の策定と同時に事務局で各課への問い合わせをとりまとめていただき、その結果を各委員にご報告いただくという形でできればと思っております。事務局のお考えもあると思いますので、今後の進め方について補足をお願い

会 長

会 長

事務局	<p>いしたいと思います。</p> <p>会長がおっしゃったように、我々で素案を作成し、委員の皆さまのご意見をお聞きします。その後、市民からのご意見をパブリックコメントでお聞きし、最終的に計画を策定いたします。その後、計画策定の部分と皆さまからのご意見がどうなったか気になるところだと認識しておりますので、1月下旬頃に計画原案と合わせて送付させていただく予定です。</p>
会 長	<p>何かご要望やご意見があれば。そういう進め方で今後楽しみに待っていていただければと思います。また、パブリックコメントは全ての市民の皆さまに開かれた機会です。ここでたくさんのご意見をいただきました。行政の手で改めてまとめ直されたものがパブリックコメントの案として出てきます。是非、当審議会の委員の皆さまからも、たくさん意見を積極的にお願いできればと思います。この6回の間、皆さま方に熱心にご議論をいただき、最後はやや拙速と言われても仕方がないような進行だったかもしれませんが、全体のスケジュールの中で何とか答申をとりまとめるところまでくることができました。委員の皆さま方に改めて感謝を申し上げ、私の出番は以上にさせていただきます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>これまで本当に長時間にわたり熱心にご審議いただき、ありがとうございました。それでは、最後の審議会にあたり、行政経営室長の作田からご挨拶させていただきます。</p> <p><b>●閉会あいさつ</b></p>
会 長	<p>ご苦労さまでした。皆さんどうもありがとうございました。</p>
事務局	<p>それでは、本日の会議はこれで終了とさせていただきます。</p> <p><b>3 閉会</b></p>